



くらしHOW 研究員がミセスをヨム！

40代=肉食系のイメージはちょっと違う！?

F 世間一般で、バブル経験世代の40代は何事にも積極的な肉食系世代と言われておりますが…。このデータを見ると、40代は「女性として輝きたい」という意欲が、他の年代より薄めに見えます。

I この前、何かの調査で教育費が家計費の37%を占めているってニュースがあったよね。

F 日本政策金融公庫の調査ですね。小学校以上に在学中の子供全員にかかる費用の合計は、年収に対して平均で37.6%。前年比3.9ポイント増、という辛い結果でした。

I 現実の40代って、教育費もローンも大変。夫は夫で仕事にも遊びにも忙しい時期だし。でも、子どもは育ってきたから、自分もだんだん外に出始めるときでもあり…けっこう現実が突きつけられるというか、周囲と比較して、自分は遅れをとっている？とヘコむ時期なんです。

F 確かに、昨年の「夫婦関係調査」もそうでしたが、40代ミセスって、悩み多き感じですね。だから逆に40代ミセス向けの役立つ情報がウケるのかな。NHKの「あさイチ」も40代向けにして成功していますし。

U そうよね、40代は女性として迷いの時期、それで、50代になると吹っ切れてくる…と。

40代・50代はカジュアルファッションが難しい

F 「女性として男性に魅力的に見られたい場」のデータでは、「同窓会・同級会」などは、全世代でモチベーションが高いです。でも、「夫との記念日」などは、年代が上になると、ガクッと下がる。まあ「結婚式」などの場合は、それ自体が少なくなるので仕方ないのですが。

N 魅力的に…といっても、フォーマルな場はまだいいけど、旅行とかカジュアルな場のファッションが課題…の40代・50代は多いんじゃない？

U そうそう。「そろそろ卒業だから、今着ておかない」と思って、つい若いカッコしちゃって失敗、とかのパターンも増えてくるんだよ。この世代、ファッションにはみんな悩んでいると思うよ。

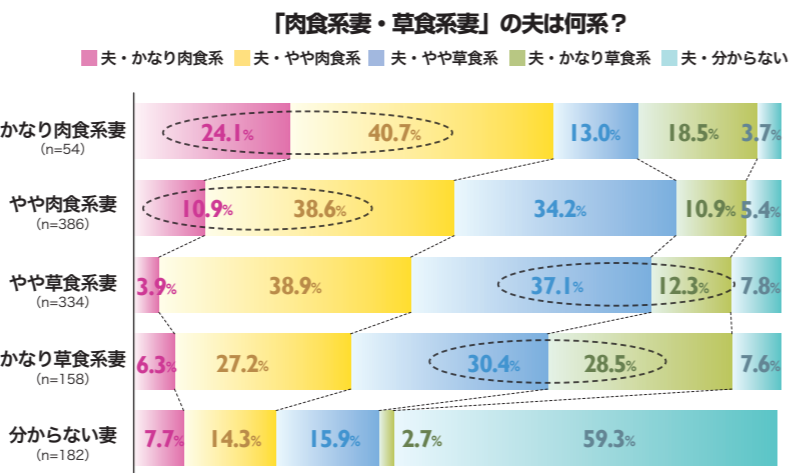
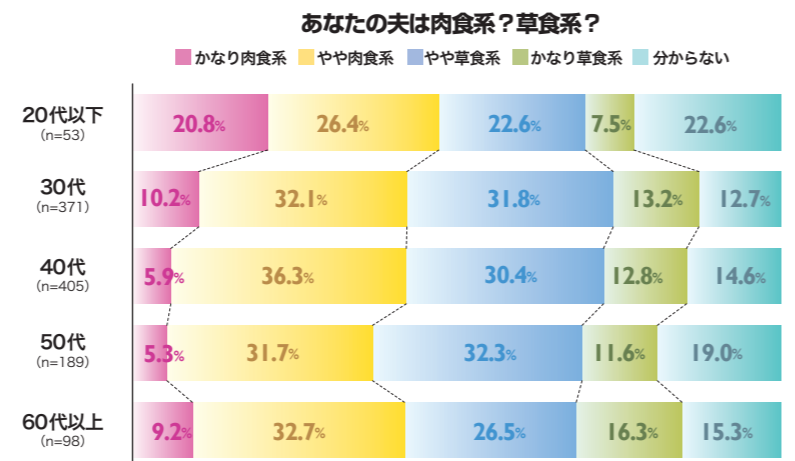
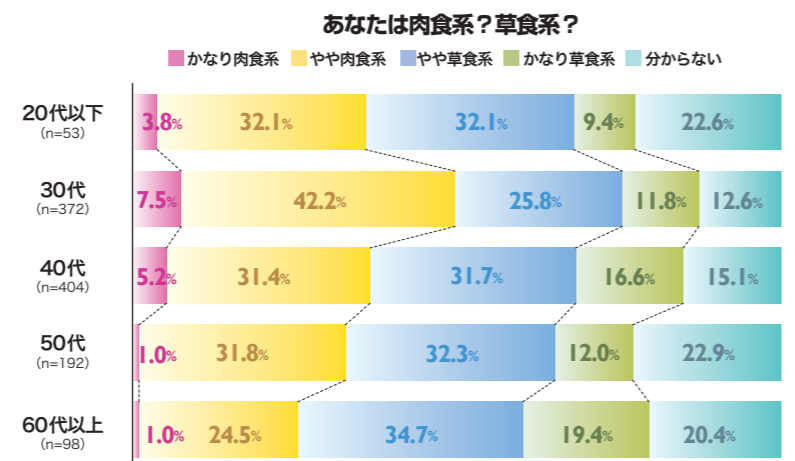


肉食系40代ミセスが肉食系に変身するトリガーを見つけよう

今、バブル世代に80年代ディスコがブームらしい。今回のデータではそんな巻の話とは異なり、40代ミセスの肉食率が30代と比べると低い。実は肉食系40代女子の方が異質の存在なのか？はたまたON&OFFを上手にやりくりしているのか？羊の皮をかぶった狼という言葉もあるが、羊が狼に変身するトリガーがあるのか？肉食系女子攻略にはそのトリガーを見つけるのが必須では。同窓会や女子会などの日常から離れた非日常がそのトリガーとなるのかもしれない。

肉食系ミセスが多いのは30代、肉食夫婦、草食夫婦の“一致率”は5～6割

すっかり定着した言葉「肉食系・草食系」。今ではさまざまな意味で使われていますが、今回はあえて意味を定義せず「あなたは肉食系？草食系？」と聞いてみました。すると、肉食率が一番高かったのは30代ミセスで「かなり」と「やや」を合算して49.7%、草食率を超えています。また「夫はどっち系？」と聞くと、年代での差はほぼなく、約4割が肉食系、それより少しだけ多い割合が草食系という結果に。わずかですが、妻の方が夫より「肉食率」が高いのは30代です。では、夫婦で肉食・草食は一致しているの？とクロス集計してみると、一致しているのは5～6割。傾向が同じだと分かり合える、違うからこそ補完できる…どちらのカップルにもメリットはありそうです。



Part 2

「モテ・肉食・草食」ミセスに関係ないこと…ありません！

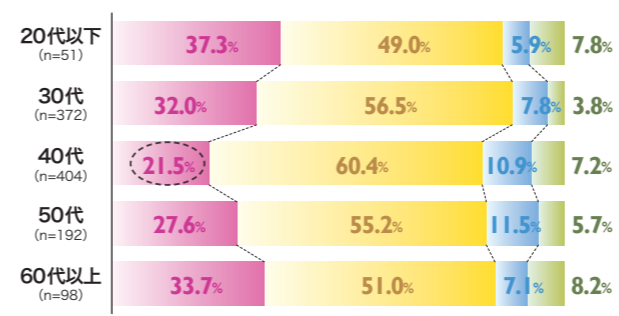
30代の自己判定・肉食率 49.7%、夫の肉食率は 42.3%



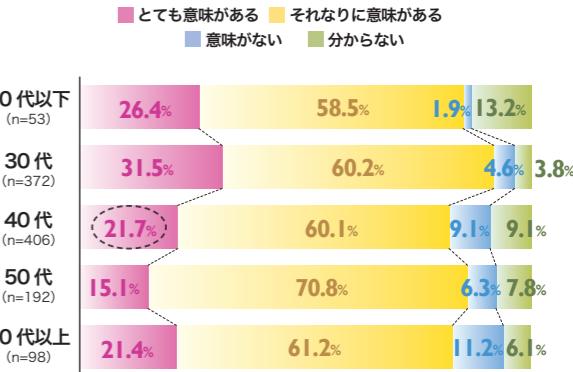
モテ、肉食系・草食系などのキーワードは、ミセスには無関係かといえ、そんなことはありません。「ミセスにとっても、男性から見て女性として魅力的なのは、意味があることだ」と8割以上が回答。結婚しても、まだまだ気は抜いていませんよ。ただし年代別データでは40代ミセスの元気のなさが気になるところ。

【調査概要】
調査期間 2010年11月4日～7日
調査方法 ウェブアンケート調査（リビング新聞公式サイト「えるこみ」掲出）
有効回答 配偶者のいる女性1132人

夫は「女性から見て男性として魅力的」であってほしいと思う？

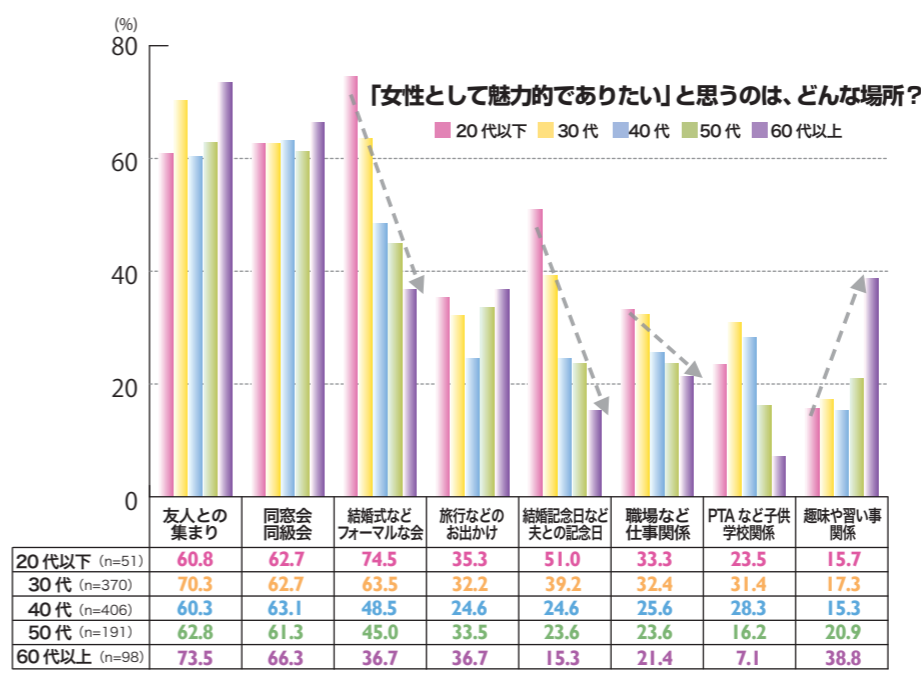


ミセスにとって「男性から見て女性として魅力的」なのは意味のあることだと思う？



自分も魅力的でありたいし、夫だって「男として魅力的」でいてほしい

8割以上のミセスが「男性から見て女性として魅力的なのは意味がある」と回答。年代別でも大きな差はないのですが、「とても意味がある」と答える人が、30代から40代で10ポイントも減るのは気になるところ。夫に対しても「魅力的であってほしい」という回答が全体では多いのですが、40代では少し落ち込んでいます。現在の40代はバブル経験世代として積極的・意欲的な人が多いと言われていますが、40代ミセスはちょっとお疲れモードなのでしょうか。



「女性として輝きたい場」は年齢とともに変化、40代はトキメキ不足傾向

女性としての魅力を発揮したい場は「友人との集まり」が1位ながら、年代による違いがクッキリ。若いときは「結婚式などフォーマルな会」「結婚記念日など夫との記念日」。しかしこれらは、年齢とともに存在感を失います。全世代に共通する「輝きたい場」は「同窓会・同級会」で、60代以上になると「趣味や習い事関係」もポイントに。また、ここでも40代はどの項目でもポイントが低めで、ときめきの機会が不足気味の様子。40代ミセスの生活には「女性としての存在の危機」が潜んでいるのかもしれない。